

## 第8章

### マラウイ —小農の商品作物への転換—

原島 梓

要約：マラウイ農業は、1990年にひとつの転換期を迎えた。小農のタバコ生産の解禁により、小農がトウモロコシ生産からタバコ生産に移行したため、マラウイの経済はタバコへの依存度を高めていった。その一方で、主食であるトウモロコシの自給ができなくなり、輸入に依存するようになった。そして2001年以降、深刻な食料不足に陥るようになる。

キーワード：マラウイ グローバリゼーション 農業 統計 アフリカ

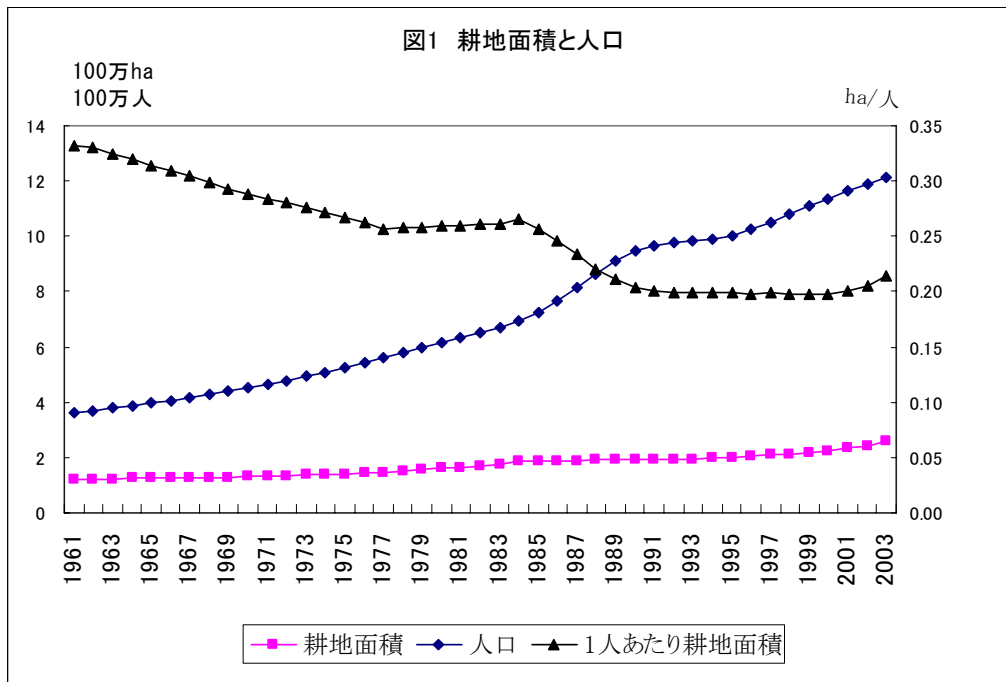
#### はじめに

マラウイでは2001年から2003年にかけて食料不足が深刻化し、諸外国に緊急援助を要請した。食料不足の要因としては、洪水や早魃、在庫の不足が挙げられている(Rubery[2003:1])。しかし、それ以外の要因として、1990年以降の農業構造の変化を挙げることができるだろう。1990年に小農のタバコ生産が解禁となり、それまで主にトウモロコシや落花生を生産してきた小農が、タバコ生産に参入するようになった。その後、トウモロコシの生産量が安定せず、年により大きく変動するようになったことが、今回の食料不足につながったと考えられる。本稿の目的は、こうした危機的側面を含むマラウイ農業の特色を統計データから概観することである。

## 1. マラウイ農業の概要

マラウイは1964年にイギリスから独立した南部アフリカの内陸国である。工業は発展しておらず、タバコの生産と輸出にその経済の大部分を依存してきた。2003年のタバコ輸出額の対GDP比は約17%であり、その一方で、工業の対GDP比は10%を下回っている<sup>1)</sup>。

独立以前、マラウイには1万人程の白人、インド人が居住していた。同じく英領であったジンバブエには、同時期に40万人程の白人が居住しており、ジンバブエと比較するとマラウイ在住の白人は少なかったと言える(栗田[2004:58])。そのため1964年の独立当時、白人所有の大規模農場は、国内の耕地面積の2%を占めるのみであった。独立後、こうした大規模農場の多くはマラウイ人所有となったが、この時期に大規模農場を購入したのは、有力政治家や初代大統領のバンダが所有する企業等、政治権力に近い個人や企業であった(高根[2005b:5])。政府は大規模農場を優遇する政策を打ち出し、1980年代後半まで、タバコ<sup>2)</sup>や紅茶、サトウキビの生産は、大規模農場のみに許可していた(Place[2001:77]; Pryor[1991:7]; 坂元[1992:10])。小農によるサトウキビ生産が解禁されたのは1980年代半ばである。タバコは1990年、紅茶はようやく最近になって解禁された(Pryor[1991:7])。それ以前、小農はトウモロコシや落花生といった限られた作物を、狭い耕地面積の中で栽培せざるをえなかった(江口[1993:1])。図1はマラウイの耕地面積と人口の推移をまとめたものである。耕地面積は1961年から現在に至るまで拡大を続けているが、それを上回るペースで人口が増加しており、2003年の人口は1961年の人口の3倍以上である。そのため1人当たりの耕地面積は減少傾向にある。1998年の1世帯当たりの耕地面積の平均は1.0ヘクタールであり、1人当たりの平均は0.2ヘクタールである(Malawi [2005])。



(出所) FAOSTAT よりダウンロード。

## 2. 農産物市場

マラウイ農業の構造を把握するために、まずは主な農作物の作付面積の推移を見ていこう(表1)。穀物(トウモロコシとその他の穀物)の作付面積が大部分を占めているのがわかる。中でも主食であるトウモロコシの比重がもっとも高く、2004年は総作付面積の約6割を占めている。近年は、食料の安定的な確保のため、トウモロコシだけではなく、ソルガムやミレット、米、ジャガイモやキャッサバ等の作物も生産されるようになってきてはいるが、依然としてトウモロコシの比重が高い(Harrigan[2003:852])。

マラウイ農業は1990年に転換期を迎える。そのきっかけは、小農のタバコ生産の解禁である。これにより主にトウモロコシや落花生を生産してきた小農が、タバコ生産に参入するようになった。トウモロコシの作付面積は、1991年から1994年にかけて著しく減少している(表1)。1995年以降増加に転じるが、1991年の水準まで回復するのは2000年である。落花生の作付面積も1990年から1993年にかけて激減するが、その後増加に転じ、1998年には1990年の水準まで回復している。1990年代前半にトウモロコシから

タバコへの作付転換が加速した一因としては、1990年代に投入財価格が急騰し、トウモロコシの収益性が下がったことが挙げられるだろう（Harrigan[2003:854,855]）。表2によれば、タバコ総生産量に占める小農のシェアは、1992年の12%から2002年の69%まで増加している。このシェアの急増は、小農のタバコ生産への積極的な参入を表している。この農業構造の転換は、農作物の輸出額にも表れている（図2）。1990年以降、タバコ輸出額の伸びは顕著であり、2003年の農作物総額に占める割合は70%にも上る。紅茶と砂糖の輸出額も伸びてはいるものの、タバコの輸出額の伸びには遠く及ばない。

1991年以降、主食であるトウモロコシの生産量は安定せず、年により大きな変動が見られる（表3）。このことはマラウイ国内の食料の安全保障に大きな影響を及ぼしている。図3に明らかなように、1988年以降、主食であるトウモロコシが輸入されるようになった。人口の増加により、トウモロコシの消費量が伸びたため、不足分を輸入に頼らざるをえなくなったのである。輸入額は年により大きく変動しているが、これはトウモロコシの生産量が毎年大きく変動し、それにあわせて輸入量も変動しているためである。国民1人当たりのトウモロコシの消費量は低下傾向にあるが（表3）、マラウイ国民のカロリー摂取量に占めるトウモロコシの割合は依然として50%以上を占めているため<sup>3</sup>、政府にとってトウモロコシの安定供給は重要な課題である。

国内のトウモロコシ生産量の不安定化を問題視した政府は、1998年、2350万ドルの予算でスターター・パック・プログラム（Starter Pack Program）を実施した（Harrigan[2003:857]）。これは、すべての農家に種子と肥料を無料で配布し、農業普及員の指導のもと、各農家に0.1ヘクタール以上トウモロコシを栽培させようというプログラムである。表3によると、1999年と2000年のトウモロコシの生産量は過去40年間でもっとも多く、このプログラムの成果が表れている。しかしこのプログラムは、世界銀行や他のドナーから批判され、その後は継続されなかった（Harrigan[2003:857]）。

最後に、農産物の輸出入相手国を見ておきたい（図4-1, 4-2）。2004年の主な輸出相手国としては、イギリス、ドイツ、南アフリカ、アメリカ、ケニアなどが挙げられる。輸出農作物はそのほとんどがタバコである。輸入に関しては、南アフリカ、モザンビーク、ザンビア、ジンバブエなど、全体の約60%を南部アフリカ諸国が占めている。

表1 農作物の作付面積

(単位: Ha)

	トウモロコシ	穀物(トウモロコシ以外)	ジャガイモ	キャッサバ	プランテン バナナ	サトウキビ	落花生	タバコ
1961	800,000	78,200	10,000	21,000	22,000	0	159,000	41,763
1962	800,000	76,100	10,000	21,000	22,000	0	186,000	51,030
1963	809,000	81,551	10,000	19,500	23,000	0	195,000	73,895
1964	809,000	89,056	11,000	19,500	23,000	0	179,000	49,007
1965	1,020,000	90,250	11,000	19,000	24,000	0	196,000	68,391
1966	1,020,000	108,600	11,000	20,000	24,000	486	200,000	58,682
1967	864,000	108,100	12,000	20,000	24,000	2,080	220,000	48,159
1968	1,068,000	106,300	12,000	20,000	24,000	2,430	210,000	36,400
1969	1,068,000	116,300	13,000	15,000	24,000	2,246	230,000	35,100
1970	1,000,000	120,300	13,000	13,500	24,000	2,478	223,000	41,354
1971	1,050,000	152,300	13,000	17,000	24,200	2,593	247,000	50,290
1972	1,100,000	162,400	13,000	23,000	24,300	3,033	247,000	55,564
1973	1,150,000	160,300	35,000	40,000	24,500	4,501	239,000	50,141
1974	1,110,000	162,260	35,000	40,000	26,000	5,368	239,000	51,563
1975	1,000,000	160,300	35,000	42,000	27,000	6,728	239,000	50,171
1976	1,000,000	165,440	35,000	42,000	29,000	8,682	239,000	61,172
1977	1,000,000	175,200	36,000	44,000	30,500	9,095	250,000	66,611
1978	1,150,000	87,200	36,000	44,000	31,500	8,999	250,000	76,522
1979	1,161,000	85,400	36,000	47,000	33,000	9,093	250,000	80,075
1980	969,600	84,400	38,000	50,000	34,500	13,851	250,000	63,239
1981	1,100,000	65,560	40,000	53,000	36,000	14,945	250,000	65,257
1982	1,200,000	68,200	40,000	55,000	38,000	14,183	250,000	66,879
1983	1,169,402	55,931	40,000	59,351	40,000	14,457	146,314	101,142
1984	1,173,634	60,539	42,000	81,497	40,000	14,056	144,935	88,139
1985	1,145,102	72,071	42,000	80,262	40,300	13,829	135,966	101,869
1986	1,193,275	73,870	43,000	72,904	40,300	14,073	176,293	94,211
1987	1,182,415	70,390	32,177	64,875	41,500	14,598	209,938	97,786
1988	1,215,087	74,789	31,597	61,780	42,500	15,200	175,819	93,000
1989	1,270,822	75,528	47,260	72,823	43,800	16,000	139,691	89,740
1990	1,343,784	81,558	34,299	61,506	44,800	17,000	48,185	100,110
1991	1,391,878	80,349	53,949	71,619	47,500	18,000	69,978	117,200
1992	1,368,093	62,122	25,741	63,965	47,000	18,000	64,386	130,800
1993	1,327,040	108,474	40,683	75,050	47,000	14,000	61,040	129,800
1994	1,129,316	106,434	40,995	72,149	47,000	18,000	95,309	79,207
1995	1,229,187	125,184	68,483	94,731	47,000	18,000	89,373	105,738
1996	1,242,588	154,932	77,846	116,523	47,000	17,650	71,586	113,823
1997	1,233,538	165,132	101,813	125,813	47,000	17,500	100,140	114,764
1998	1,292,670	147,441	148,197	151,941	47,000	18,000	140,747	114,051
1999	1,369,150	140,862	164,018	166,125	42,000	17,000	170,517	116,400
2000	1,435,220	135,088	177,834	180,758	38,000	19,000	169,078	118,752
2001	1,446,260	140,906	210,683	198,470	35,000	18,000	181,337	114,097
2002	1,488,449	147,387	87,675	102,929	32,000	18,000	205,726	158,250
2003	1,550,000	154,000	88,000	103,000	30,000	20,000	229,996	96,083
2004	1,537,650	145,608	149,478	156,645	30,000	20,000	218,028	151,935

(出所) FAOSTATよりダウンロード。

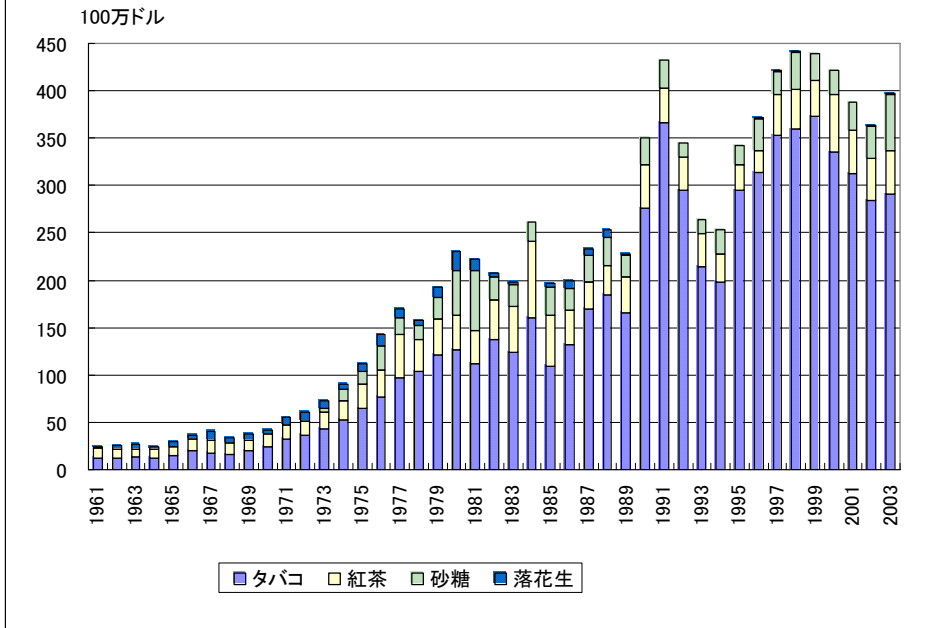
表2 タバコ総生産量に占める小農のシェア

(単位: %)

	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
小農のシェア	12.1	21.4	15.9	27.3	48.7	52.9	70.0	62.9	61.7	66.2	69.0

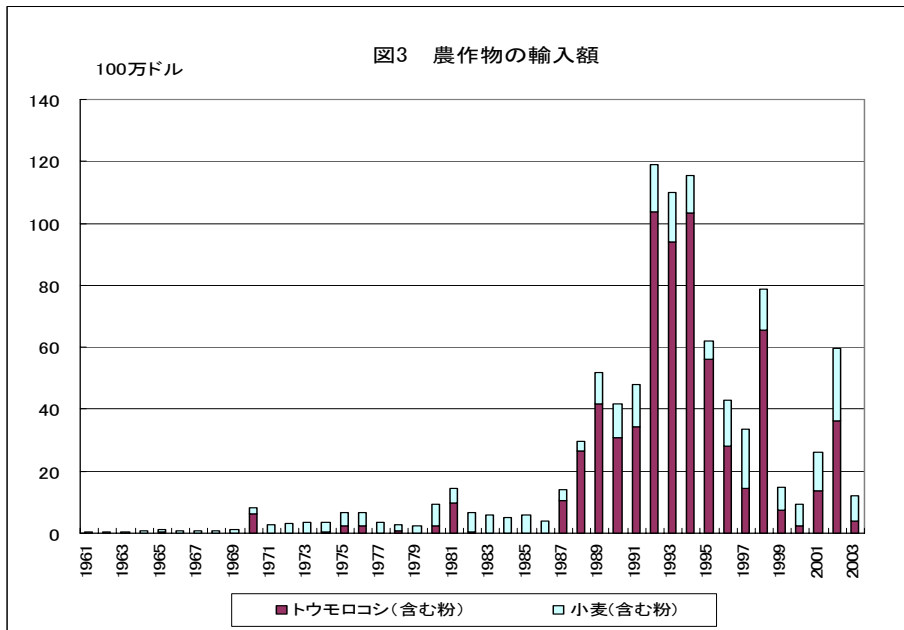
(出所) 高根務[2005]「マラウイにおける小農タバコ生産の拡大と農村地帯」『アジア経済』第46巻第9号9月, p.6.

図2 農作物の輸出額



(出所) FAOSTAT よりダウンロード。  
 (注) 詳細は付録表 1 を参照。

図3 農作物の輸入額



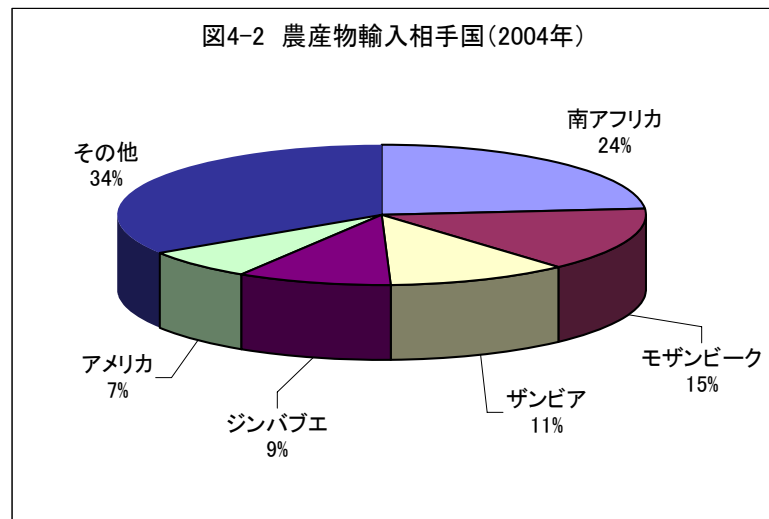
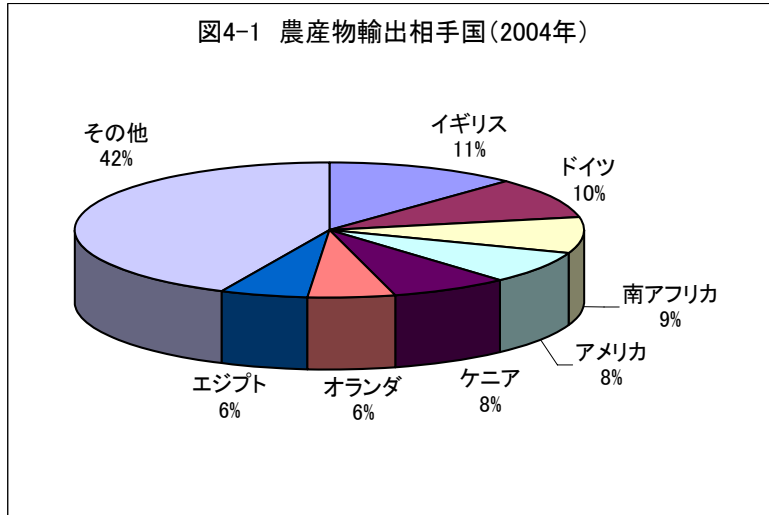
(出所) FAOSTAT よりダウンロード。  
 (注) 詳細は付録表 2 を参照。

表3 トウモロコシの供給量の内訳と1人あたりの消費量

	生産Mt	輸入Mt	在庫Mt	輸出Mt	国内供給量Mt	1人当たり消費量 kg/年
1961	815,000	0	-60,000	10,000	745,000	147.5
1962	850,000	0	-20,000	10,000	820,000	149.3
1963	726,000	0	80,000	10,000	796,000	161.1
1964	907,000	0	-30,000	13,700	863,300	172.3
1965	890,000	6,587	20,000	1,016	915,571	173.0
1966	950,000	326	-20,000	44,358	885,968	169.4
1967	1,270,000	60	-160,000	91,444	1,018,616	172.3
1968	1,089,000	4	80,000	86,974	1,082,030	172.2
1969	1,057,700	15	20,000	47,304	1,030,411	174.1
1970	900,000	92,343	90,000	1	1,082,342	177.9
1971	1,239,200	246	-110,000	4,602	1,124,844	173.7
1972	1,310,000	122	-130,000	36,841	1,143,281	171.7
1973	1,281,845	95	-100,000	36,249	1,145,691	168.4
1974	1,280,000	514	-90,000	31,014	1,159,500	166.8
1975	1,000,000	20,589	130,000	10	1,150,579	161.3
1976	1,098,000	21,273	40,000	14	1,159,259	158.5
1977	1,321,000	0	-140,000	0	1,181,000	156.3
1978	1,423,000	1,700	-190,000	0	1,234,700	162.0
1979	1,393,000	1,900	-140,000	0	1,254,900	162.7
1980	1,186,000	11,160	60,000	0	1,257,160	161.1
1981	1,245,000	56,063	-60,000	0	1,241,063	159.8
1982	1,415,000	1,153	-140,000	49	1,276,104	159.4
1983	1,369,403	0	70,000	120,541	1,318,862	165.1
1984	1,397,948	0	-10,000	127,345	1,260,603	155.0
1985	1,355,202	0	40,000	64,602	1,330,600	157.9
1986	1,294,564	0	140,000	85,080	1,349,484	154.1
1987	1,201,757	47,194	190,000	490	1,438,461	159.4
1988	1,423,848	119,844	10,000	0	1,553,692	166.3
1989	1,509,513	155,195	-70,000	200	1,594,508	165.4
1990	1,342,809	122,599	130,000	1,088	1,594,320	160.3
1991	1,589,377	151,867	-100,000	834	1,640,409	157.2
1992	657,000	364,222	470,000	842	1,490,380	143.1
1993	2,033,957	494,796	-800,000	4,125	1,724,628	156.6
1994	1,040,000	389,567	240,000	1,393	1,668,174	149.8
1995	1,661,457	235,374	-50,000	3,197	1,843,634	156.8
1996	1,793,461	83,244	-10,000	521	1,866,184	153.1
1997	1,226,478	54,652	500,000	722	1,780,409	142.5
1998	1,772,392	324,766	-200,000	53	1,897,105	146.7
1999	2,479,406	30,873	-600,000	91	1,910,188	147.2
2000	2,501,311	9,071	-500,000	11,000	1,999,382	145.9
2001	1,589,440	54,148	300,000	200	1,943,388	142.9
2002	1,556,975	193,186	320,000	844	2,069,317	142.9

(出所) FAOSTATよりダウンロード。

(注) 在庫のマイナス表記は、在庫に追加する量を示し、プラス表記は在庫取崩しの量を示す。



(出所)UN Commodity Trade Statistics Database.

### 3. 投入財市場

ここでは化学肥料と種子を取り上げる。化学肥料の1ヘクタールあたりの使用量は、1970年代後半まで右肩上がり増加しているものの、その後は、年により大きな変動が見られる(表4)。これは1980年代半ば以降、政府が化学肥料に対する補助金撤廃したことが一因であろう(Wobst[2003:76]; 坂元[1992:14]; [1998:94])。すでに述べたように、政府は1998年にスターター・パック・プログラムを実施し肥料を無料で配布しているが、



この統計にはプログラムの実施による肥料使用量の変化は表れてはいない。なお化学肥料は、国内では全く生産されておらず、全量輸入に頼っている。

トウモロコシ種子についてみると、ハイブリッドの販売量が伸びてきている（表 5）。混成種(Composite)とは、毎年種子を購入する必要はないが、数年で質が低下する種子であり、この販売量は年によって大きく変動している。1998年にはスターター・パック・プログラム向けに政府がハイブリッドの種子を買い上げたこともあり、ハイブリッドの販売量が急増している。トウモロコシの作付面積のうちハイブリッドの割合を示すデータは存在しないが、Smale[1994:96]によると、1991年の時点では作付面積のうち約4割がハイブリッドであった。

表4 化学肥料の使用量、生産量、輸入量

	使用量		生産量	輸入量
	100g/ha	t	t	t
1961	39	4,470	0	4,470
1962	33	3,880	0	3,880
1963	35	4,150	0	4,150
1964	41	4,850	0	4,850
1965	42	5,000	0	5,000
1966	42	5,000	0	5,000
1967	50	6,000	0	6,000
1968	58	7,000	0	7,000
1969	58	7,088	0	7,088
1970	89	10,999	0	10,999
1971	120	15,062	0	22,599
1972	105	13,343	0	15,063
1973	127	16,392	0	13,062
1974	81	10,630	0	10,698
1975	113	15,021	0	14,500
1976	200	26,898	0	25,933
1977	172	23,492	0	23,492
1978	203	28,870	0	28,870
1979	172	25,244	0	25,244
1980	219	33,264	0	33,264
1981	218	34,156	0	34,156
1982	200	32,300	0	32,300
1983	259	43,001	0	43,001
1984	256	44,774	0	58,062
1985	166	29,267	0	29,267
1986	210	37,479	0	37,479
1987	269	48,403	0	48,403
1988	284	51,226	0	51,226
1989	303	54,800	0	54,800
1990	264	48,000	0	48,000
1991	384	70,000	0	75,600
1992	403	73,800	0	68,200
1993	403	74,000	0	74,000
1994	115	21,283	0	21,283
1995	232	43,519	0	43,519
1996	306	58,200	0	58,200
1997	291	56,800	0	56,800
1998	251	50,200	0	50,200
1999	244	50,100	0	50,100
2000	237	49,791	0	49,791
2001	125	27,482	0	27,482

(出所)使用量は、World Developing Indicators 2005、生産量と輸入量はFAOSTAT。  
(注)輸入額のデータは存在せず。

表5 トウモロコシの種の販売量

(単位:t)

	ハイブリッド	混成種
1980	2,200	800
1981	1,400	700
1982	1,500	600
1983	1,500	300
1984	1,550	200
1985	1,600	150
1986	1,300	175
1987	1,700	800
1988	2,500	500
1989	3,300	300
1990	4,500	300
1991	4,800	0
1992	6,000	0
1993	2,200	0
1994	6,500	0
1995	6,900	110
1996	3,300	0
1997	5,200	0
1998	9,700	500
1999	9,700	1,300

(出所) Malawi, Ministry of Agriculture, Irrigation & Food Security,  
*The Seed Market in Malawi : Assesment and Development Options*, 2000, p. 22.

#### 4. 資本市場

小農は、タバコやトウモロコシ生産に必要な資金をどのように調達しているのであろうか。表6は、政府系金融機関 MRFC (Malawi Rural Finance Company) の2004年の農村向け信用供与の総額を表している。MRFCは最大の農村金融機関であるが、他の金融機関も農村に対し貸付けを行なっている。MRFC 貸付口座数が顧客数より少ないのは、通常、農民は10人前後のグループ単位で口座を持ち、ローン供与を受けるためである。2004年のローン供与総額は13億クワッチャであり、これを貸付け顧客数で割ると1人当たり7,784クワッチャとなる。これは一袋50キログラムの化学肥料2袋強分に相当する金額である。また、2002年の農業を主とする世帯数は164万世帯であり(Malawi [2005])、2004年のMRFCの貸付け顧客数は17万人であることから、10%程の農家世帯がMRFCから借り受けていると推測できる。

MRFC 以外にはどのような資金調達の手段があるのだろうか。表7は1998年におけ

る資金の借入先とその用途を表したものである。これによると、2割近くの世帯が1年間に何らかの手段で資金を調達しており、その借入先は、銀行や金融機関よりも、友達、親戚などインフォーマルな手段の割合が高い。同表は調査対象世帯が農家に限られてはおらず、非農家世帯も含まれているため、農家の資金の調達先を正確に表しているわけではない。しかし国民の多くが農業に携わっていることから考えると、MRFC以外の農家の資金調達先として、友達や親戚といったインフォーマルな手段が大きな役割を果たしているとみてよいだろう。また所得階層別に見ると、貧困層ほどインフォーマルな手段に依存している。また借入れ資金の用途をみると、53%が農業投入財の購入に当てられており、貧困層ほどこの比率が高くなっている。

小農の資本調達とは直接関係ないが、外国資本による農業分野への直接投資の実態も見ておこう。表8は1993年から2004年までの農業分野への直接投資を全て記したものである。2002年以降、直接投資の件数が増えてきており、なかでもインドや南アフリカの投資件数が多い。インドは、貿易相手国として重要でないにも関わらず、投資を増加させてきている。

**表6 MRFC(Malawi Rural Finance Company)の2004年の農村向け信用供与総額と顧客数**

ローン供与総額(クワッチャ)	1,329,900,000
貸付け口座総数	20,455
貸付け顧客数	170,840
うち女性顧客数	68,366

(出所)MRFCのResearch & Product Development部のマネージャーに高根務氏聞き取り、2005年11月23日。

**表7 資金の調達先とその用途(1998年)**

(単位:%)

		計	超貧困	貧困	非貧困
12ヶ月以内にローンを借りた世帯		18.8	18.6	18.7	18.9
ローン借入先	銀行、その他金融機関	25.8	14.8	21.8	30.4
	友達、親戚	57.2	69.9	63.5	50.1
ローンの用途	農業投入財	53.2	83.1	62.6	49.4
	住宅関係	25.2	4.9	24.6	25.5
	食糧	3.1	5.9	5.8	2.0

(出所) Malawi, National Statistical Office, *Statistical Yearbook 2004*, p.100.

(注) 貧困 (poor)は、1998年の調査時に貧困ライン以下の世帯を指す。

超貧困 (ultra-poor)は、貧困世帯のうち、貧困ラインの60%に満たない世帯を指す。

(注)この調査に関しては、調査時期と調査対象世帯数が明記されていない。

表8 農業分野に対する直接投資の内訳

	会社名	セクター	国名	従業員数	額(ドル)	合計金額(ドル)	業種
1993						0	
1994	Cheetah Limited	農業		10	126,000	650,000	
	Zikomo Flowers	園芸	インド	23	524,000		
1995	Nature's Gift	農産物加工		7	13,333	13,333	
1996	Maravi Flowers	園芸	イギリス	101	638,200	638,200	
1997						0	
1998	Britz	農業		1,000	26,000,000	26,270,000	
	Meadow Feeds Ltd	農産物加工	南アフリカ		270,000		
1999	Food Products Ltd	農産物加工	南アフリカ	200	100,000	100,000	
2000	Bolux Milling	農産物加工			5,500,000	5,500,000	
2001	Premier Food Products	食品加工		50	347,517	707,517	
	Victoria Investemnts	農産物加工			360,000		
2002	Chima Farming Limited	農業	中国	300	999,000	12,357,000	
	Funwe Farm Limited	農業	マラウイ・イギリス	100	133,000		
	Saybacc Limited	農業	ジンバブエ	100	205,000		
	MS Farming Ltd	農業	インド	42	150,000		
	Mapeto Bakery	農産物加工	インド	93	750,000		
	Royal Foods Industries	農産物加工	インド	30	120,000		
	Continental Tobacco Ltd	農業	ウガンダ	230	10,000,000		
2003	Clark Cotton	農業	マラウイ・南アフリカ	50	4,000,000	9,491,000	綿花栽培
	Tafika Bakery Ltd	農産物加工	インド	60	100,000		パン
	Tabagri Ltd	農業	南アフリカ	300	2,800,000		農業
	Wo Sen Limited	農産物加工	中国	100	117,000		料理用油、フルーツジュース
	LAM Limited	農業	南アフリカ	40	74,000		農業
	Star Bakery Ltd	農産物加工	インド	39	100,000		パン
	Kathmandu Ltd	農産物加工	ネパール	45	100,000		菓子、パン
	Boletus Mushrooms Export Ltd	農産物加工	ポーランド・南アフリカ	120	50,000		マッシュルーム栽培
	Candyman Sweet Manufacturers Ltd	農産物加工	インド	40	150,000		菓子
	Krazy Cool Ltd	農産物加工	インド	100	2,000,000		フルーツジュース
2004	Demata Farm	農業	ジンバブエ	100	50,000	100,000	
	Kawechi Investment Limited	農業	ジンバブエ	80	50,000		

(出所) Malawi, Ministry of Trade and Private Sector Development 内部資料.

## 5. 家計状況

次に、家計の所得の構成と消費の構成を見ていきたい（表 9-1、9-2）。この調査の対象には農家以外の世帯も含まれるから、「農家」の家計状況を示したものとは言えない。しかし農村部世帯の多くは農家と考えられるから、農村部家計のデータで代替しえるだろう。所得の構成を見ると、農村部においても食糧作物販売所得がマイナスの値を示しており、食糧作物の生産費用は販売額を大きく上回り、所得がマイナスであることを表している。またこの調査は、小農のタバコ生産がすでに定着したと思われる 1997 年、1998 年に実施されているにも関わらず、農村部における換金作物販売所得は全体の 7%にすぎない。

家計支出の構成を見ると、都市部と比較して農村部のエンゲル係数の高さが目立っている。都市部は農村部に比べて所得水準が高いこと、また都市部の住居費が高く食費が圧迫されていることが、要因として考えられる。

## 6. インフラ

内陸国であるマラウイでは、貿易のための輸送手段はどの程度整備されているのだろうか。表 10 によると航空機輸送量は、1991 年以降、減少傾向にある。これにより現在の輸送手段は、航空機ではなく、陸路ならびに近隣諸国の港を利用した水運に、重点がおかれていると考えられる。マラウイが主に利用している港は、タンザニアのダル・エス・サラーム、モザンビークのナカラ、ベイラ、マプト、南アフリカのダーバンである。1980 年代前半までは、ナカラ、ベイラが主に利用されていたが、モザンビークのゲリラ活動によってこれらの港に通じる鉄道輸送路が破壊されたため、他の港を利用するようになった（Pryor[1991:47];坂元[1992:13]）。ダル・エス・サラームが利用されるようになったのは 1990 年代初頭からであるが、現在ではダル・エス・サラームが最も頻繁に利用されている（栗田[2004:235]）。同表によると、1990 年代前半から現在にかけて、鉄道ならびに船舶輸送量が減少している。この間の貿易量は増加していることから、港までの陸路の輸送手段は、鉄道や船からトラックに代わりつつあると考えられる。道路総延長距離ならびに舗装道路の割合に関しては近年のデータが存在しないが、UN[2001:28-29]は、国内の道路環境は依然として劣悪であると指摘している。

表9-1 家計所得の構成(1日当たり)

(単位:%)

	全体				農村				都市			
	計	超貧困	貧困	非貧困	計	超貧困	貧困	非貧困	計	超貧困	貧困	非貧困
食糧作物販売	-0.6	-0.3	-0.5	-0.6	-0.6	-0.1	-0.5	-0.7	-0.5	-1.2	-1.0	-0.4
換金作物販売	5.1	6.4	6.7	4.5	7.0	7.5	7.9	6.6	1.0	0.2	0.2	1.1
家畜販売	1.3	2.2	1.8	1.0	1.8	2.6	2.1	1.7	0.1	0.3	0.2	0.0
非農業所得	8.2	1.5	2.3	10.5	2.1	1.0	1.3	2.6	21.4	3.9	8.1	23.6
労賃	28.2	21.4	21.5	30.9	15.8	13.1	13.0	17.3	55.8	64.0	69.2	53.7
利子	0.7	0.0	0.1	1.0	0.3	0.0	0.0	0.4	1.7	0.0	0.2	1.9
賃貸料	1.5	0.9	1.1	1.6	0.7	0.7	0.6	0.8	3.0	2.1	3.6	2.9
その他	12.4	14.6	11.2	13.0	12.1	14.5	11.7	12.3	13.2	15.1	7.9	14.1
自家消費	43.1	53.3	55.9	38.1	60.7	60.7	63.7	59.1	4.3	15.6	11.8	3.1

表9-2 家計支出の構成(1日当たり)

	全体				農村				都市			
	計	超貧困	貧困	非貧困	計	超貧困	貧困	非貧困	計	超貧困	貧困	非貧困
食費	61.5	78.2	76.2	55.4	73.5	82.1	80.9	69.7	35.2	63.1	57.5	29.8
タバコ購入費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
燃料費	3.7	4.6	4.3	3.4	3.5	3.6	3.5	3.6	3.9	8.6	7.7	3.0
衣類費	6.6	4.6	5.2	7.2	6.5	4.6	5.1	7.3	6.7	4.8	5.5	7.0
教育費	3.2	1.7	1.7	3.8	1.7	1.7	1.7	1.7	6.3	1.7	1.7	7.5
住居費	7.5	2.0	2.8	9.5	2.0	0.4	0.6	2.8	19.3	8.3	11.2	21.3
贈与、ローン返済	5.1	1.5	2.0	6.4	3.5	1.0	1.4	4.7	8.4	3.4	4.2	9.4
その他	12.6	7.3	7.8	14.4	8.9	6.5	6.8	10.1	20.0	10.1	12.3	22.1
調査世帯数	6,586	1,616	3,580	3,006	5,657	1,373	3,099	2,558	929	243	481	448
調査対象者数	28,946	8,503	17,509	11,437	24,944	7,237	15,177	9,767	4,002	1,266	2,332	1,670

(出所) Malawi, National Economic Council, *Profile of Poverty 1998*, p.78,81.

(注) 貧困 (poor) は、1998年の調査時に貧困ライン以下の世帯を指す。

超貧困 (ultra-poor) は、貧困世帯のうち、貧困ラインの60%に満たない世帯を指す。

(注) ここでは non-farm business sale を非農業所得と訳し、employment income を労賃と訳した。

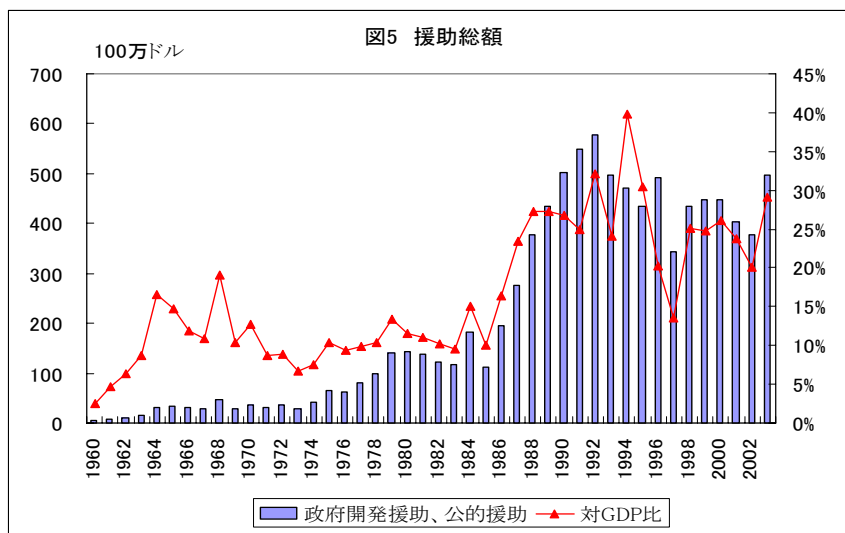
表10 インフラ整備の状況

	道路総延長距離 km	舗装道路の割合 %	鉄道輸送量 1,000t/km	船舶輸送量(湖) 1,000t/km	航空機輸送量 t
1990	10,204	22	78,914	8,199	7,928
1991	13,819	17	57,433	6,871	10,465
1992	14,151	17	54,503	5,933	9,914
1993	14,157	18	44,087	3,682	8,741
1994	14,204	18	56,700	4,500	7,300
1995	14,594	20	73,700	1,360	6,700
1996	14,594	20	48,300	6,800	4,100
1997	16,451	19	45,551	2,848	6,298
1998	..	..	53,144	4,601	5,525
1999	28,400	19	55,048	3,997	5,502
2000	..	..	79,747	745	5,348
2001	..	..	66,238	401	3,937
2002	..	..	64,036	789	3,468
2003	..	..	17,909	320	2,768

(出所) 道路総延長距離と舗装道路の割合はThe World Bank, *World Developing Indicators 2005*, それ以外はReserve Bank of Malawi, *Reserve Bank of Malawi*, 各年。

## 7. 援助

最後に、援助について言及しておきたい。図5からわかるとおり、マラウイに対する政府開発援助ならびに公的援助は莫大な額にのぼる。2003年の援助額は対GDP比の30%程である。1980年代後半以降、援助額が急激に伸びているが、その背景としては、マラウイの構造調整の受入れを挙げられるだろう。



(出所) The World Bank, *World Development Indicators 2005*。

## おわりに

マラウイ農業にとって、1990年のタバコ生産の解禁はひとつの転換期であった。小農がタバコ生産に参入し、タバコの輸出額が急激に伸びる一方で、主食であるトウモロコシが自給できなくなり、輸入が急増した。

de Janvry[1991]によれば、農民は主食作物の安定的な確保を第1の目標にするため、換金作物の値上がりがおきても、主食作物の栽培量を自家消費分を下回る水準まで減らすことはほとんどないという。高根[2005a:23]によれば、農民は主食であるトウモロコシの生産に第1の重点をおいた作付けを行っており、経営規模の小さい世帯ほどタバコ生産に従事しない傾向が見られるという。ではなぜマラウイでは、トウモロコシの自給ができなくなり、輸入に依存するようになったのか。本章で扱った統計数値ではこの疑問を解決することができなかった。これは今後の課題としたい。

---

<sup>1</sup> World Developing Indicators 2005(CD-ROM)の数値を基に筆者が計算した。

<sup>2</sup> このタバコとは、バーレー種タバコを指す。バーレー種タバコは、マラウイで生産されるタバコの大部分を占めるため、以下、バーレー種タバコをタバコと称す。

<sup>3</sup> FAOSTATより筆者が計算した。2002年のトウモロコシの占める割合は52.3%である。

## [引用文献]

Harrigan, Jane [2003]”U-Turns and Full Circles : Two Decades of Agricultural Reform in Malawi 1981-2000,” *World Development*, Vol.31, No.5 , May.

de Janvry, Alain [1991]”Peasant Household Behavior with Missing Markets : Some Paradoxes Explained,” *The Economic Journal*, No.101, November.

Malawi, National Statistical Office [2005] *Statistical Yearbook 2004*, Zomba, January.

Place, Frank and Otsuka, Keijiro[2001] “Tenure, agricultural investment, and productivity in the customary tenure sector of Malawi,” *Economic Development and Cultural Change*, Vol.50, Issue1.



- Pryor, Frederick [1991] *Malawi and Madagascar*, Oxford University Press.
- Rubey, Lawrence [2003] "Malawi's Food Crisis : Causes and Solutions"  
([http://www.sarpn.org.za/documents/d0000148/P338\\_Rubey\\_2003.pdf](http://www.sarpn.org.za/documents/d0000148/P338_Rubey_2003.pdf)、2006年1月16日アクセス).
- Smale, Melinda and Heisey, Paul[1994]"Gendered Impacts of Fertilizer Subsidy Removal Programs in Malawi and Cameroon," *Agricultural Economics*, Vol.7, Issue 2.
- United Nations[2001] *Economic Aspects of Development of Agricultural Alternatives to Tobacco Production and Export Marketing in Malawi*, United Nations.
- Wobst, Peter[2003] "The impact of domestic and global trade liberalisation on five Southern African countries," *The Journal of Development Studies*, Vol.40, Issue 2.
- 江口義弘[1993]「マラウイ共和国の野菜生産振興事情」(『海外農業開発』第189号)。
- 栗田和明[2004]『マラウイを知るための45章』明石書店。
- 坂元浩一[1992]「マラウイの構造調整政策の実施」(『アフリカ研究』第40号)。
- [1998]「マラウイにおける世銀・IMF主導の構造調整計画—実施状況、効果、資源移転—」(『三田学会雑誌』第90巻第4号)。
- 高根務[2005a]「マラウイの女性農民とタバコ生産」(『アフリカレポート』第41号)。
- [2005b]「マラウイにおける小農タバコ生産の拡大と農村地帯」(『アジア経済』第46巻第9号9月)。

付表1 農作物の輸出額

(単位: 1,000ドル)

	農作物総額	タバコ	紅茶	砂糖	トウモロコシ	ナッツ	落花生	綿花	香辛料	豆類	生ゴム
1961	28,282	11,500	11,500	0	500	0	1,400	640	0	864	0
1962	30,068	11,500	10,000	0	500	0	4,500	510	0	933	0
1963	31,233	13,200	9,000	0	500	0	5,400	660	0	781	0
1964	32,493	11,810	9,348	0	670	0	3,117	2,700	0	2,136	0
1965	37,242	14,299	10,552	0	48	0	4,590	3,022	0	2,603	0
1966	44,993	19,658	12,458	0	2,197	0	3,603	3,035	0	1,749	0
1967	51,334	18,147	12,372	303	4,514	0	9,461	1,907	0	2,104	0
1968	43,342	16,547	11,640	0	3,967	0	5,539	1,528	0	1,034	0
1969	46,755	19,829	11,431	185	2,558	0	6,709	2,075	0	1,226	0
1970	50,369	24,045	13,099	189	0	0	5,089	3,334	0	1,262	0
1971	64,208	32,718	14,381	379	496	0	7,107	3,077	0	1,500	0
1972	72,197	36,143	15,254	454	1,642	1	8,975	3,234	0	1,551	0
1973	88,532	43,586	17,286	4,062	4,018	5	7,343	2,419	0	822	0
1974	106,827	52,605	20,787	10,933	4,164	0	6,196	3,240	0	1,312	0
1975	121,541	64,663	25,237	14,203	6	1	7,502	2,233	0	1,650	0
1976	153,430	76,440	29,015	25,408	10	2	12,311	2,571	0	1,730	0
1977	184,166	97,251	46,196	16,540	0	1	9,818	2,698	0	3,644	0
1978	169,257	103,366	34,511	14,527	0	34	5,565	827	0	2,792	0
1979	207,431	121,882	37,688	22,137	0	24	10,923	2,267	0	2,397	0
1980	250,900	126,624	36,653	46,469	0	33	19,976	5,561	0	2,186	0
1981	238,808	112,403	34,188	63,732	0	58	12,270	0	0	3,097	0
1982	220,062	137,602	42,208	23,139	7	53	4,752	0	0	3,510	0
1983	231,490	124,510	47,750	23,102	18,109	210	2,662	5	0	9,075	0
1984	296,883	160,429	80,188	20,530	20,219	143	890	2,114	0	4,529	0
1985	228,941	108,900	53,856	30,258	9,934	176	3,524	7,617	0	4,571	0
1986	231,638	132,023	36,967	22,385	8,562	503	8,420	1,103	0	4,953	0
1987	258,215	170,110	27,689	28,802	53	553	6,041	357	0	11,614	0
1988	274,018	184,875	31,103	28,679	0	901	9,066	0	0	3,148	0
1989	249,198	166,391	36,769	23,692	36	1,207	407	6,042	0	2,268	0
1990	376,461	276,693	45,552	28,166	332	244	24	4,257	217	1,811	0
1991	461,593	366,516	35,895	29,599	0	761	623	7,854	0	2,393	25
1992	371,286	295,031	35,442	14,142	0	1,800	0	2,628	11	1,927	279
1993	285,967	213,793	35,587	14,143	819	545	0	8	0	1,387	3,720
1994	287,710	198,159	29,907	24,748	855	1,234	750	0	84	3,383	2,524
1995	389,406	295,654	26,562	19,590	1,918	2,432	259	0	1,197	8,186	1,511
1996	410,605	313,664	23,075	33,900	280	600	780	0	3,700	6,220	1,900
1997	483,837	353,122	42,790	23,977	262	3,479	1,323	11,629	1,224	11,077	2,100
1998	490,566	359,177	42,425	38,613	30	3,055	2,232	5,262	356	8,866	1,100
1999	478,041	373,318	38,000	27,600	30	3,055	630	3,200	850	5,009	800
2000	441,830	336,000	60,300	24,900	500	0	170	6,900	670	1,850	2,400
2001	408,609	313,000	45,600	29,300	130	0	606	4,800	1,200	2,230	2,400
2002	383,891	284,455	44,904	33,325	372	4,168	532	4,615	778	3,059	2,276
2003	426,069	290,626	46,600	58,670	2,381	8,101	2,228	2,599	1,263	5,600	1,660

(出所) FAOSTATよりダウンロード。

付表2 農作物の輸入額

(単位：1,000ドル)

	農作物総額	トウモロコシ (含む粉)	小麦(含む粉)	タバコ	パーム油	大豆油	ひまわり油	植物油
1961	5,374	0	260	800	0	0	0	0
1962	5,644	0	360	800	0	0	0	0
1963	4,634	0	460	800	0	0	0	0
1964	6,699	0	631	1,010	0	0	0	0
1965	9,114	354	814	282	0	0	0	38
1966	14,723	21	891	7,272	0	5	0	15
1967	11,953	3	812	4,847	0	0	1	10
1968	9,526	1	853	2,754	0	5	27	5
1969	10,026	5	1,036	3,126	0	12	1	6
1970	16,908	6,301	1,876	2,938	0	16	1	12
1971	13,083	22	2,639	3,514	0	19	2	0
1972	15,402	62	3,064	4,172	0	25	1	8
1973	20,126	53	3,613	6,709	0	14	4	7
1974	22,526	213	3,478	5,683	0	639	120	4
1975	24,136	2,499	4,204	4,905	0	15	6	0
1976	21,425	2,404	4,142	4,770	0	8	0	7
1977	19,090	1	3,450	1,728	0	107	1	16
1978	16,977	757	1,904	1,441	0	0	2	7
1979	25,664	100	2,353	1,391	0	51	1	1,222
1980	34,437	2,504	6,965	2,111	0	898	469	4
1981	37,279	9,643	4,833	1,443	0	241	1	32
1982	24,340	266	6,176	1,464	0	55	243	412
1983	27,617	0	6,042	1,571	0	109	50	45
1984	21,240	0	5,193	1,095	175	32	775	439
1985	22,954	0	5,894	1,162	0	0	495	255
1986	17,373	0	3,813	549	0	49	214	142
1987	24,149	10,456	3,391	4	142	0	274	16
1988	45,858	26,400	3,244	0	2,026	0	84	5
1989	78,121	41,700	10,229	0	1,083	1,166	1,812	0
1990	72,737	30,801	10,763	9	4,213	3,755	637	0
1991	83,341	34,353	13,611	955	2,623	2,295	574	433
1992	171,852	103,675	15,314	378	0	4,120	608	5,215
1993	155,820	94,056	16,004	3,504	170	2,390	284	3,552
1994	164,457	103,229	12,134	1,219	27	3,638	2,178	3,481
1995	98,207	56,005	5,899	1,072	2,242	5,215	1,202	1,989
1996	75,440	28,020	15,000	4,349	3,760	480	3,400	1,989
1997	73,910	14,551	18,793	2,700	3,800	400	8,300	0
1998	113,417	65,568	13,242	2,649	4,000	490	2,500	1,989
1999	44,598	7,503	7,360	2,449	2,900	250	2,100	1,989
2000	38,614	2,240	7,100	9,369	340	890	5,700	0
2001	56,046	13,470	12,540	7,700	139	2,500	980	0
2002	137,235	36,247	23,556	8,698	36	4,026	1,383	48
2003	42,378	3,934	8,340	839	1,665	2,261	1,092	1,771

(出所) FAOSTATよりダウンロード。